



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第183号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

POSITIVE AGING

2010～11年度テーマ 「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します

第1部 第183回例会

日 時：平成 23 年 1 月 13 日(木) 16:00～18:00

場 所：八王子エルシィ

出席者：58 名 出席率 84%

(会員総数 69 名、休会 0 名)

1. 開会 東山例会委員長の司会

2. 会長挨拶

明けましておめでとうございます。クラブ活動につきましては、前期 6 ヶ月間は 15 周年記念事業を含んで大変中身の濃い展開が出来たのではないかと考えています。6 月までの本年度後半期も宜しくお願い申し上げます。

さて、埼玉行田ロータリークラブからのお招きで去る 1 月 11 日先方に伺ってきました。用件は、埼玉県下では初となるプロバスクラブ創立のための会議への出席です。結論を申し上げれば、5 月前半に創立総会、5 月 28 日にお披露目の式典、祝賀会という予定になりました。既に 42 名の会員候補者が上がり大変立派なクラブが発足することと思います。クラブづくりの見本、手本は我が八王子プロバスクラブとのことです。先輩クラブとして恥ずかしくないクラブであり続けたいものでございます。

3. ハッピーコイン披露・バースデー報告



杉山会長から、ハッピーコインの披露(詳細: 4 頁 27 件)に続き、1 月のバースデー報告が行なわれた。今月は、大野聖二、下山邦夫、武田洋一郎、下田泰造、中野義光、米林伸恭、石井廣治、

河合和郎の 8 名の会員に、池田ときえ会員手作りの美しいバースデーカードが贈呈された。

4. お客様ご紹介

東京八王子南 R C 会 長 堀上 則夫様

同 上 副幹事 小澤 晴美様

5. 新入会員紹介



新会員：河合和郎氏(中央)、根本洋子氏(右)

(1) 新会員：河合和郎(かわい かずろう)氏

(会員番号 124 所属 会員委員会)

推薦者：杉山友一会員 川村真会員

新会員紹介(川村会員)：河合さんは、昭和 12 年 1 月生まれ、育ちも八王子です。昭和 35 年八王子市役所に私と同期に入り、平成 9 年財務部長で定年退職。その後、八王子商工会議所専務理事、昨年退職。趣味は俳句、ゴルフなど。

今後、当クラブでご活躍を期待します。

河合和郎会員挨拶：通算 50 年間、仕事に従事し、このたび入会させて頂き有難うございます。趣味のゴルフは 90 台で、油断すると 3 ケタになる程度です。俳句は、退職後の趣味の一つとして、10 年前から始めました。当クラブで“俳句の同好会”としてご賛同を頂ければ、一緒にやっていきたいと思っています。

(2) 新会員：根本 洋子(ねもと ようこ)氏

(会員番号 125 所属 例会委員会)

推薦者：澤渡 進会員

新会員紹介(澤渡会員)：根本さんは、生涯学習サロンの聴講者であり、大変お世話になっており、

当クラブ会員の中でも多くの方がご存じの方です。長期間に渡って奉仕活動をされており、なかでも八王子母の会（現在会長）で 20 年間活動しております。現役時代は右田病院で医療相談、地域連携などの事務全体の中核におり、事務次長という要職におられました。趣味は手芸、絵てがみ。面倒見がよく、頼りがいのある方で、当クラブの発展の為に尽力されますよう期待いたします。

根本洋子会員挨拶：半世紀に渡って右田病院に勤務し、その間子育て、奉仕活動に励んで参りました。これからの自分の生き方を考えていた折に、生涯学習サロンにお誘いを受け、“絵てがみ”や“夫に対する思いやり”の講座に感銘しました。このようなサロン仲間とご一緒に活動できればと思い入会させて頂きました。

6. 幹事報告 澤渡幹事

第 15 回生涯学習サロンは 2 月 24 日から開催されます。会員皆様のお力添え頂き、例年に増しての一般参加者のお誘いをお願いします。

7. 委員会報告

(1) 例会委員会 東山委員長

出席状況報告（前記のとおり。）

(2) 情報委員会 吉田委員長

・「プロバスだより第 182 号」をお届けします。本月号の編集は、4 年程前に情報委員長をされた荒正勝会員です。さすがにきちんとした編集をなされました。

・「プロバスだより」アンケート用紙をお配りしました。今後の改善資料にしたいと思います。

・15 周年記念事業の一環として、東京日野プロバスクラブの創立を支援し、プロバスだよりの編集にも協力いたしました。当プロバスだよりと形式がよく似た東京日野プロバスだより第 2 号をお配りします。

・生涯学習サロン関係の後援会名義：八王子市、市教育委員会の許可を頂きました。また、讀賣新聞、ショッパー及び市公報に記事を掲載しました。

(3) 会員委員会 川村委員長

河合和郎氏、根本洋子氏の入会により、会員数は 69 名となりました。休会々員はおりません。

(4) 研修委員会 土井委員長

お配りしました「談論風発会研修委員会報告書

（まとめと提言）」を良くお読み頂きたいと思います。プロバスだより第 181 号と重複するところもあるかと思いますが、良くご判断の上お読みください。尚、提言につきましては、過日の理事会に提案しまして、是非お考えくださいますよう強くご要望を申し上げました。

(5) 地域奉仕委員会 下田委員長

・生涯学習サロンの話し手の方へのお願いとして、当日配布のレジュメ、紹介プロフィール、司会者の氏名、必要機器・用具等の提示願います。

・サロンへのお誘いの案内を 193 名のリピーターの方にお送りしました。現在 34 通の申込がありました。多くの方のご参加を頂けますように皆さんのご協力をお願いします。

・聴講する希望講座調査票を、部屋割の都合上、早めに提出されるようお願いいたします。

8. 「創立 15 周年記念誌」訂正のお願い

・9 頁上から 2 行目 11 月→10 月

・37 頁上から 6 行目 …の文化→…の水文化

9. 特別講話

演題：「KU-MA(宇宙の学校)が目指すもの」

講師：NPO 法人 子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)

会長 的川 泰宣先生



2010 年 6 月 13 日、7 年 60 億 km の旅を終えて、オーストラリアの夜空に明るい流れ星のような軌跡を輝かせながら、小惑星探査機「はやぶさ」が帰ってきました。大気圏に突入した「はやぶさ」の本体は高熱のため消滅し、少し前に分離していたカプセルだけが生き抜いて、パラシュートで回収されました。幾多の新たな技術に果敢に挑んだチームの「冒険心」が花咲いた素晴らしい帰還でした。

そもそもこのプロジェクトの動機は、太陽系の起源を突き止めようという科学者たちの旺盛な「好奇心」でした。2003 年 5 月に打ち上げら

れ 2005 年 11 月 26 日に 2 度目の小惑星イトカワへのタッチダウンを果たした後、「はやぶさ」は姿勢制御の機能を殆ど失うという危機に陥りました。そして行方不明になったものの、長野県臼田の 64 メートルアンテナからの絶望的な呼びかけに対し、2 ヶ月足らずの後に奇跡的に応答してくれ、以前の火星探査機「のぞみ」で会得した「ワンビット通信」という奥の手を使った後、イオンエンジンを推進と制御の両方に活用しながら、順調に帰路に就いていました。

ところが帰還を半年余り後に控えた 2009 年 11 月、4 基のイオンエンジンがすべて故障するという事態に陥りました。ところがエンジン同士をダイオードで予めつないでおくというイオンエンジン班のファインプレーのおかげで、遂に地球帰還という快挙が成し遂げられたのです。設計寿命を過ぎてもすべてのコンポーネントが完璧に機能し、日本の「匠の心」は立派にその任務を全うしました。

日本や世界の多くの人々に感動と共感を与えた「はやぶさ」の打ち上げから帰還までの歩みの中には、閉塞状況にある日本の雰囲気を変え、力強い教訓がいっぱい詰まっています。「はやぶさ」は小さな子どもたちからも愛され、その感性を強く揺さぶっています。その幼い共感、未来の日本を築く大きな力になるでしょう。

「はやぶさ」もめぐり出してくれた「冒険心」「好奇心」「匠の心」は、その土台に現在の日本を象徴するキーワードである「いのちの大切さ」を据えて、「いのちのトライアングル」と呼ばれ、宇宙の豊富な素材を軸にして子どもたちを元気づける「宇宙教育」の、日本から世界に発信する重要なメッセージになっています。そうした理念を掲げて、2008 年に NPO 法人「子ども・宇宙・未来の会」（略称：KU-MA クーマ）を設立しました。

現在 KU-MA の活動の柱になっているのが「宇宙の学校」という親子教室です。日本の各地で急速に輪をひろげている「宇宙の学校」は、北海道から沖縄まで各地で自主的に運営されています。それぞれの「宇宙の学校」は数回のスクーリングから成っており、一回ごとのスクーリングでは、

数十組の親子が仲良く工作や実験を楽しみます。これだと普通の科学教室となんら変わるところがありませんが、「宇宙の学校」では、一回のスクーリングが終わると、各家庭で親子が楽しむためのテキストが渡されます。「次のスクーリングまでに親子で協力して楽しんでください」というわけです。

お父さんやお母さんが子どもの相手をできる時間が見つかったら、「宇宙の学校」の参加者のみなさんは、各家庭に戻ってから、不思議なくらい、このテキストを親子で実行します。そして、これまでは一家がバラバラで生活していたような家族でも、この「宇宙の学校」のテキストの課題と一緒にあって取り組むうちに、何だか家の中の雰囲気に変化が現れてくるそうです。「宇宙の学校」は、このように、スクーリングはあくまできっかけであって、スクーリングとスクーリングの間の家庭での過ごし方こそが親子の絆を強める絶好の機会であることに照準を定めたものなのです。その狙いの確かさは、各地でひろがりつつある「宇宙の学校」の豊富な実績によって、確実に実証されつつあると思っています。



「宇宙の学校」のテキストは、家庭の中にある身近な素材を使って楽しめるものばかりですから、ごく気軽に着手できるし、親子を結びつける目に見えない工夫がされていますから、やみつきになること請け合いです。こうした家庭内での日常的な家族ぐるみの学習と協力が、スクーリングでの地域の人々との交流も相俟って、子どもたちの学校生活をも支える大きな流れを作っていくことでしょう。

「はやぶさ」や宇宙飛行士の活躍のような宇宙ミッションから生まれた多くの素材を、単に宇宙

活動を支えるためだけのものにしないで、日本や世界の未来を切り拓いて行く精神的な活力として活かしていただけるよう、今後も工夫をしていきたいと思っています。八王子のような大きな町が「宇宙の学校」を実施する先頭に立ち、新たな日本の夜明けを招来するリーダーシップをとっていただくことを、心から期待しています。

10. プロバスソング斉唱

11. 閉会の挨拶 佐々木研吾副会長

本日は的川先生の貴重なお話を頂き、有難う御座いました。この秋に「宇宙の学校」を立ち上げる予定です。 的川先生はじめ、KU-MAの皆様のご指導よろしくお願い致します。 また、今日は河合さんと根本さん、こころ強いお二人の仲間入りにより、プロバス活動の益々の発展を願う次第です。

第2部 新年懇親会

進行司会 宮城 安子会員

開会挨拶 杉山会長

的川泰宣先生から、新年例会に相応しい大変感銘深いお話を承りました。「はやぶさ物語り」は、究極の科学の創造ものがたりであります、とりもなおさず「いのちの物語り」でもあります。先生のお話を糧として、これからのクラブ活動の充実に努めてまいる所存です。これから、第二部の懇親会を楽しく進めて参りたいと思いますが、会員の皆様方には的川先生との交流を期待しております。どうぞ宜しくお願い致します。

乾杯！下山前会長



ご挨拶：東京八王子南ロータリークラブ 掘上会長 会食懇談



おなじみ大道芸 スペシャル南京玉すだれ



夕焼け小やけ お手々つないで … 閉会

ハッピーコイン披露

◆元会員多村繁樹氏より創立 15 周年のお祝にと、ご祝儀 5 千円也を頂きました。多村氏は現在東京西北ロータリークラブ会長としてご活躍中。

益々のご活躍を祈ります。 澤渡 進

◆昨年 9 月全日本プロバス協議会総会に参加いたしました。旭川プロバス会長・副会長には格別のご配慮を頂き楽しいツアーをすることが出来、感謝の意を年末に贈りました。残額が出ましたのでハッピーコインにいたします。

全日本プロバス協議会旭川総会参加者一同

◆2 番目の孫息子が成人式を迎えました。女系家族の中の唯一の男で可愛さもひとしおです。今年秋には就活で又気苦労です。 立川富美代

◆1 月 5 日高幡不動尊へ初詣に行ってきました。手を合わせ心から平和を祈り、健康で過せます様にお願いし、“高幡まんじゅう”を求めて仏壇に供えました。とても落ち着いた気分になりました。

阿部幸子

◆娘が女兒を生みました！昨年 12 月 4 日浅草寺観世音菩薩の御加護を頂いた、寅の子ならぬ、寅の「初孫」！感無量です。

直腸癌手術、白内障手術後、はじめての公的演奏—都立駒込病院クリスマスコンサート (2010. 12. 9.)、二期会ニューイヤーコンサート (2011. 1.10) を敢行、評価を得ました。 山形忠顯

◆満 69 才になりました めでたくもあり めで

たくもなし

下田泰造

◆暮 マージャン大会 B. Bでした 山崎修司

◆75 才をすぎて初のお正月をお祝できて、幸せです。みなさんのご多幸をお祈りして 土井俊玄

◆明けましておめでとうございます。本年もよろしく 野口浩平

◆麻雀教室にて三度の賞をいただく 今日はなかなか取れないブービー賞を取るのもこれまたハッピーである 荻島靖久

◆12 月の忘年麻雀大会でめでたく優勝しました。何度めのと、いいたいところですが初優勝です。

佐々木 正

◆箱根駅伝 正月恒例の箱根駅伝 母校青山学院大 昨年に引続き 9 位入賞 来年のシード権を確保 宮崎浩平

◆書初展が 1 月 22 日～25 日に いちょうホールで開催します。但し 24 日(月曜日)は休館日です。ご高覧頂ければ、幸甚に存じます。 阿部和也

◆久し振りの正月 昨年は永生病院の病棟で新年を迎えたが、今年は自宅で新春を迎え、非常にハッピーだった。 濱野幸雄

◆河合和郎さんと根本洋子さんが入会されました。皆様よろしくおねがいもうしあげます。

川村 真

◆情報委員会のプロバスだよりも軌道にのった。次は生涯学習サロンの抄録です。 吉田信夫

◆今月からめでたく高貴(high & noble)=後期(later period)高齢者の仲間入りです。 下山邦夫
◆初夢の語らい、家族親族が集まりゆったりとした時間を過ごし、希望や抱負を語り合い、素敵な新年にカンパイ！！ 宮城安子

◆久し振りに息子達家族が全員そろって集まり楽しい正月を過しました。 高取和郎

◆お正月に傘寿のお祝いを頂きました。竹内賢治
◆孫が 3 日間熱を出して学校休んでいるけど先ほど孫にTELしたら 36.4 度と下がったと聞き胸をなでおろす。 根本洋子

◆初めまして、新入会の河合です。よろしくお願
いします。クラブの皆様と楽しい時間が持てたら
と願っています。ご挨拶として一句 プロバスの
仲間となりて年新た 河合和郎

◆後半年、杉山執行部はこれからも進化します。

ご支援の程宜しくお願い申し上げます。澤渡 進
◆昨年末、のどを痛めて一週間程口が利けない苦
しみを体験しました。今日の幹事報告はうまくし
ゃべれるか？ちょっと不安。 澤渡 進

◆生まれて このかた 7 度目のうさぎ年。
今更軽快には跳べないし、気合を入れて重々しく
とんでみるか。 澤渡 進

◆数え年で 80 歳を傘寿といいますが、この正月
で傘寿となりました。未熟な私ですが、何とか年
齢相応の熟成を期したいと念じています。

佐々木研吾

◆年の初めの例会を祝う今日こそめでたけれ。
新入会員の河合氏、根本氏を歓迎して。杉山友一

投 稿

「私の仕事史 -3-」

竹内賢治

(第 182 号より続く)

「北陸の合成繊維産地」

東レのナイロン生産開始当



初は原料を扱えばそれなりの

利益が確保出来た。メーカーから割当量を如何に
確保するかが、商社担当者の腕の見せどころでし
た。当時東レを「中の島通産局」と云われました。
価格は東レがメーカー出し値、量を規制しており
ました。

北陸の大手企業で早くから東レナイロンで高
級ナイロン織物を生産・染色する輸出業者があり
ました。

当時織物設計のロス計算が甘く、出目糸の取引
がありました。東レには内緒の糸ですから年に 2
回ほど大阪・京都の指定された場所で現金の受け
渡し取引でした。(当時若い私にそれだけの現金
を持たし、取引をさせていただきました。)

また、東レの担当者が産地へ出張すると金沢の
産元商社は如何に担当者を確認するかでしのぎ
を削っていました。即ち土踏まずの出張と云われ
ていました。このようなことはユニチカが生産を
軌道に乗せる頃まで続きました。しかし、メーカ
ーが増え大量生産になることで価格は下がる一
方で業界には色々な混乱もありました。1965 年

頃ナイロン30デニール¥800/kgが4～5年で¥500/kgまでに値下がりし原料を仕込み製品を販売していた業者は常に値下がりの被害者で倒産に追い込まれた産元もありました。

原糸価格の不安定があり、生地生産はメーカーからの商社を介在した委託加工で推移し、価格変動損を避けた取引になっていました。ある意味では親方日の丸的な処があり横の競争意識はあまりありませんでした。(賃織り惚けと云われた時代でした)

繊維の輸出事情は、対米輸出規制問題があり、量ではなく如何に付加価値を求めるかでした。当時の対米輸出は米国で商品見本の提案があり、その見本を大阪輸出部経由メーカー技術陣に提示され、設計・原価計算されて米国業者との価格交渉となります。欠点は米国駐在の商社員に設計・採算計算が出来ないことが元です。そこで、傘下大手業者の担当者をニューヨーク伊藤忠に駐在させ、現地で設計・原価計算の上商談をすることにしました。駐在の経費は伊藤忠輸出部40・NY40・金沢支店20%の負担で3年の駐在予定で出しましたが、その効果は靦面でした。結局6年ほど駐在し帰国後各メーカーから貴重がられました。

合成繊維の産地事情は混沌とし、北陸産地組合が一斉操短を実施し、メーカーも需給の調整が避けられませんでした。1971年いわゆるニクソンショックでメーカーも初めての操短が行われ産地への発注も減少せざるを得ませんでした。当時産地構造改善事業で繊維機械メーカーも規模が大きくなりましたが、一部に資金繰りのための生産があり製品の在庫融資でしのいでいた業者がありました。先に述べたように小機業場の設備更新と付加価値商品への切り替えを実施することにしました。(つづく)

「座右の銘」

山崎修司

座右の銘とは、「いつも自分の座る場所のそばに書き記して置いて、戒めとする文句」と辞林に記されてある。その意味では、私にとっての座右の銘は、本来の意味と異なる。

私の座右の銘を最初に公にしたのは、平成8年3月、東京の会社の経営を任されて、赴任のまえに、



本社の役員応接室で、日刊工業新聞の記者にいろいろ抱負を問われ、最後に、「ところで常務、貴方の座右の銘は何ですか？」と聞かれた。それまで座右の銘は、俗に言う、偉

い人、立派な人達の其れが、新聞、雑誌等に掲載されていたのを知っていたが、私には全く無縁であり、考えてもいなかった。突然の問いに、少々慌てていたが、その時閃いたのが、“Where there's a will, there's a way”であった。「意志あるところに道あり」だ。1週間後の日刊工業の新役員紹介欄には、写真と経歴、抱負等と共に「精神一到何事か成らざらん」が載っていた。

新生中学2年次に、ある商社の中途退職者で、女性最員の英語の新米教師が、週2～3時間の授業の最初に、毎回念仏のように“Where there's a will, there's a way”を言い、生徒達にも復唱させた。その時覚えたのが、半世紀後に咄嗟に出てきただけで、座右の銘の本来の意味とは異なる所以だ。新米の英語教師が存命か否かは不明だが、窮地を救ってくれ、其れが私の座右の銘になった事に感謝したい。

二番目に記したのは、当プロバスクラブの10周年記念誌の会員紹介欄だ。さらに、15周年記念事業の冊子にも掲載した。

「精神一到何事か成らざらん」は南宋の大学者、朱子(1130～1200)と門人らとの問答を集大成した「朱子語類」にある有名な語である。日本には鎌倉時代の末に伝えられた。なお、「何事か成らざらん」は、反語の句法で、「いかなることも、成就しなかりうか、必ず成就する」の意味。関連語として、前記の英語のほかに、「なせばなる、なさねばならぬ何事も、ならぬは人のなさぬなりけり」がある。

編集後記:お二人の入会、特別講話、投稿2編、新年会と、本号は盛り沢山の編集量でした。歓喜の余り、眩く間をもてませんでした。

情報委員会 阿部 和也